

地域が担う  
18歳選挙権時代  
地方議会活性化シンポジウム2016

NPO法人YouthCreate代表  
原田謙介

YouthCreate

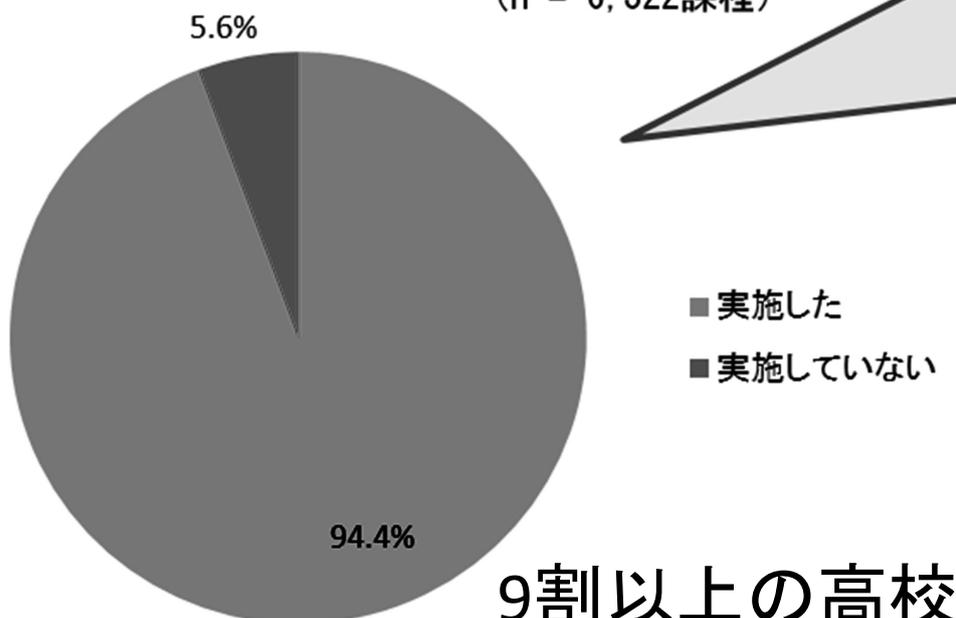
下から目線で若者を巻き込む

「権利をプレゼントした」  
ではない。

「若者の力」を必要としていることを  
伝え、「社会全体の変化」を

H27年度第3学年以上の生徒における  
主権者教育の実施状況(全体)

(n = 6,322課程)



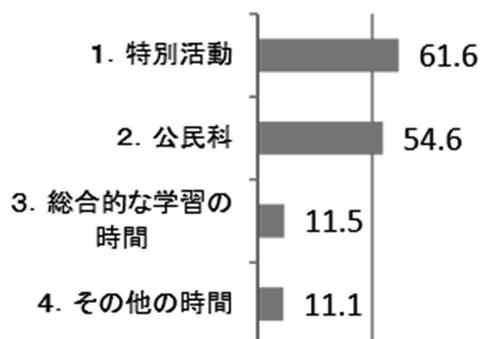
9割以上の高校で  
主権者教育授業の実施

## “選挙”の授業である実情

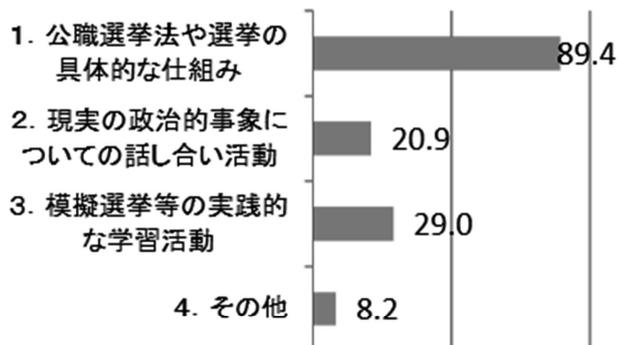
<取組の内容について>

※実施した課程全体における割合

①実施した教科等



②具体的な指導内容



目指すものなの？

「選挙は大事だと思った」

「選挙のルールを  
きちんと知る必要がある」

こっちがいい！！

「議員に想いを伝えてもいいんだ」

「今回の話を聞き、私たちの意見が求められていることを知って積極的に参加してもいいんだと思った」

「政治は身近なところにもあるんだ」

## 2016年参院選 18歳・19歳投票率 《確定版》

18歳	51.28%
19歳	42.30%
18歳+19歳	46.78%
全世代	54.70%

18歳投票率が 20代平均: 36.39% 30代平均: 44.11% を超える!

出典：2016年9月9日 総務省 発表  
平成28年7月10日執行 第24回参議院議員通常選挙年齢別投票者数  
-18歳・19歳（全数調査） - 年齢別投票者数（抽出調査） -



## 2 国家・社会の形成者として求められる力

国家・社会の形成者として求められる力は、次のようなものです。こうした力は、変化の速い21世紀社会において活用できる汎用的な力でもあります。

- 論理的思考力（とりわけ根拠をもって主張し他者を説得する力）**  
自分の意見を述べる際には根拠をもって説明することが重要であることを理解するとともに、異なる立場の意見がどのような根拠に基づいて主張されているかを検討し、議論を交わす力。
- 現実社会の諸課題について多面的・多角的に考察し、公正に判断する力**  
現実の社会においては様々な立場やいろいろな考え方があることについて理解し、それらの争点を知った上で現実社会の諸課題について公正に判断する力。
- 現実社会の諸課題を見出し、協働的に追究し解決（合意形成・意思決定）する力**  
お互いに自分の考えや意見を出し合い、他者の考えや価値観を受け入れたり意見を交換したりしながら、問題の解決に協働して取り組む力。
- 公共的な事柄に自ら参画しようとする意欲や態度**  
大きな社会変化を迎える中で、日本人としての自覚をもって国際社会で主体的に生きること、持続可能な社会の実現を目指すなど、公共的な事柄に自ら参画していこうとする力。

## 1 民主政治と話し合い

民主政治は、討論によって、物事を決める政治であり、話し合いの政治です。また、健全な民主主義社会とは、身近な地域社会の小さな討論に始まり、いろいろな段階において討論が行われ、話し合いがもたれた上で、問題の解決、決定が図られる社会です。

民主政治では、あるテーマについて、人々に十分な討論の機会を与えて徹底的に話し合い、意見をまとめて最善と思われる結論を出します。全員の意見が一致すればよいのですが、政治の問題は国民生活に極めて密接に関係しているため、様々な意見が対立することが多く、最終的には多数決で合意を形成するのが一般的です。

合意が形成された後は、全員がその決定に従うことが多数決の原理です。ただし、多数決が有効に生かされるためには、多様な意見が出し尽くされ、少数派の意見や根拠を明らかにして、多数派のそれと比較検討することが必要です。少数意見が正しいものであれば、できるだけ吸収するというものでなければなりません。納得することで実効性も高まります。

## 政治は学ぶではなく関わる

実際の政治に関わる場や  
機会を広げていく必要。

### 学生と“議会”の交流の促進を

- ①ひととなり
- ②自分と政治の繋がり
- ③街の論点

## 身近な政治がカギ！

「街の政治」「世代に即したテーマ」  
自分事として関わってもらう必要

→「政治の話をする」ではなく、  
「生活と政治が出会う」

他自治体との比較なども効果的

## 一方向から双方向へ

若者と政治家の交流

若者と多世代が街や政治を語る  
若者の意見が政治の議論の場に載る

→例：

Voters Barを全国で26回

若者の参画する街岡山

高校に政治家を招く授業

一緒にやりましょう！



広げる・・・HP・Twitter・Facebookページ等で情報発信中  
情報の拡散のご協力をお願いします。

使う・・・YouthCreateとの協働イベントの実施しましょう。  
あなたの街の若者参画をすすめる

強くする・・・寄付やマンスリー会員としてご協力ください。  
詳細はHPやYouthCreateメンバーまで

NPO法人YouthCreate 原田謙介

<http://youth-create.jp/>

[haraken@youth-create.jp](mailto:haraken@youth-create.jp)

070-5525-9800